

様式6

平成21年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2009-W-01

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文：リソスフェアの短波長不均質性の時空間変化に関する研究の高度化 - 物理モデルの構築と稠密地震観測記録の解析をとおして -

英文：Promotion of studies on the spatiotemporal variation of small-scale heterogeneities in the lithosphere – physical modeling and high-concentration seismograph network data analysis

4. 研究代表者所属・氏名 横浜市立大学 大学院生命ナノシステム科学研究科 吉本和生
(地震研究所担当教員名) 山下輝夫

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日数	旅費支給
浅野春香	東北大学・理・4年	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
岩城麻子	京都大学・防災研究所・D2	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
江本賢太郎	東北大学・理・D1	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
大見士朗	京都大学・防災研究所・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
奥野喬也	立命館大学・理工・M1	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
Eduard Carcole	東北大学・理・GCOE ポスドク	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
川方裕則	立命館大学・理工・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
河原 純	茨城大学・理・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
齊藤竜彦	防災科学技術研究所・任期付研究員	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
佐藤春夫	東北大学・理・教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
澤崎 郁	東北大学・理・D3	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
菅谷勝則	金沢大学・自然科学・D3	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
高木涼太	東北大学・理・M1	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
武村俊介	東京大学・地震研究所・D1	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無

竹本帝人	東京大学・地震研究所・M2	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
田島文子	LMU・Miinchen・教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
田島礼子	東京大学・地震研究所・PD	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
辻 琢允	名古屋大学・環境・M1	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
筒井智樹	秋田大学・工学資源・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
土井一生	京都大学・防災研究所・研究員	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
中原 恒	東北大学・理・助教	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
中元真美	九州大学・理・M2	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
西上欽也	京都大学・防災研究所・教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
西澤 修	産業技術総合研究所・契約職員	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
林田拓己	京都大学・理・特別研究学生	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
古本宗充	名古屋大学・環境・教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
干場充之	気象研究所・地震火山研究部・第4研究室長	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
前田拓人	東京大学・情報学環・特任研究員	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
松本 聡	九州大学・理・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
宮澤理稔	東京大学・地震研究所・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
村井芳夫	北海道大学・理・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
毛利拓治	名古屋大学・環境・M1	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
靱山京子	茨城大学・理・M2	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
山下輝夫	東京大学・地震研究所・教授	所内担当教員	H21.9.14-15	2	無
山本 希	東北大学・理・助教	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
吉光奈奈	立命館大学・理工・M2	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
吉本和生	横浜市立大学・生命ナノシステム科学・准教授	研究代表者	H21.9.14-15	2	有
蓬田 清	北海道大学・理・教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有
綿田辰吾	東京大学・地震研究所・助教	研究集会参加	H21.9.14-15	2	無
渡辺俊樹	名古屋大学・環境・准教授	研究集会参加	H21.9.14-15	2	有

6. 研究内容（コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入）

キーワード：地震波、散乱、クラック、不均質構造、地震波干渉法

研究集会「リソスフェアの短波長不均質性の時空間変化に関する研究の高度化 - 物理モデルの構築と稠密地震観測記録の解析をとおして -」は、2009年9月14、15日の2日間、第一線の研究者や大学院生など約40名の参加者を集めて、東京大学地震研究所1号館セミナー室A・Bにおいて開催された。研究集会では、震源や地震波伝播に関する新しい物理モデルおよび稠密地震観測記録の解析に基づいたリソスフェアの不均質構造とその時空間変化に関する26件の講演があった。具体的には、非等方的な震源の輻射と多重前方散乱の影響を考慮した地震波エンベロープの合成とその応用、動的地震破壊の包括的モデル化、ノイズ相関法による散乱媒質のグリーン関数の導出、地殻内のクラック（亀裂）が異方性及び散乱に及ぼす影響、相関解析を利用した地殻構造の時空間変化に関する研究、地震波干渉法による地盤構造の推定などに関する発表があった。参加者間における新しい知見の共有化と活発な議論による諸現象についての理解の深化によって、今後の当該研究分野の進展に一定の貢献がはかれたものと考えられる。

7. 研究実績報告（公表された成果のリスト*¹または2000～3000字の報告書）

(*¹論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無、ポイント数、電子ファイル添付のこと)

・講演集（プロシーディングス）の公開

東京大学地震研究所ホームページ「共同利用研究の成果」の下記のURLで公開（謝辞に記載あり：5ポイント）

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/H21/syukai/>

